



クイックスタートガイド



DeepMind 12

True Analog 12-Voice Polyphonic Synthesizer with
4 FX Engines, 2 OSCs and LFOs per Voice, 3 ADSR Generators,
8-Channel Modulation Matrix, 32-Step Sequencer,
Tablet Remote Control and Built-In WiFi

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご確認ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用する際の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

法的放棄

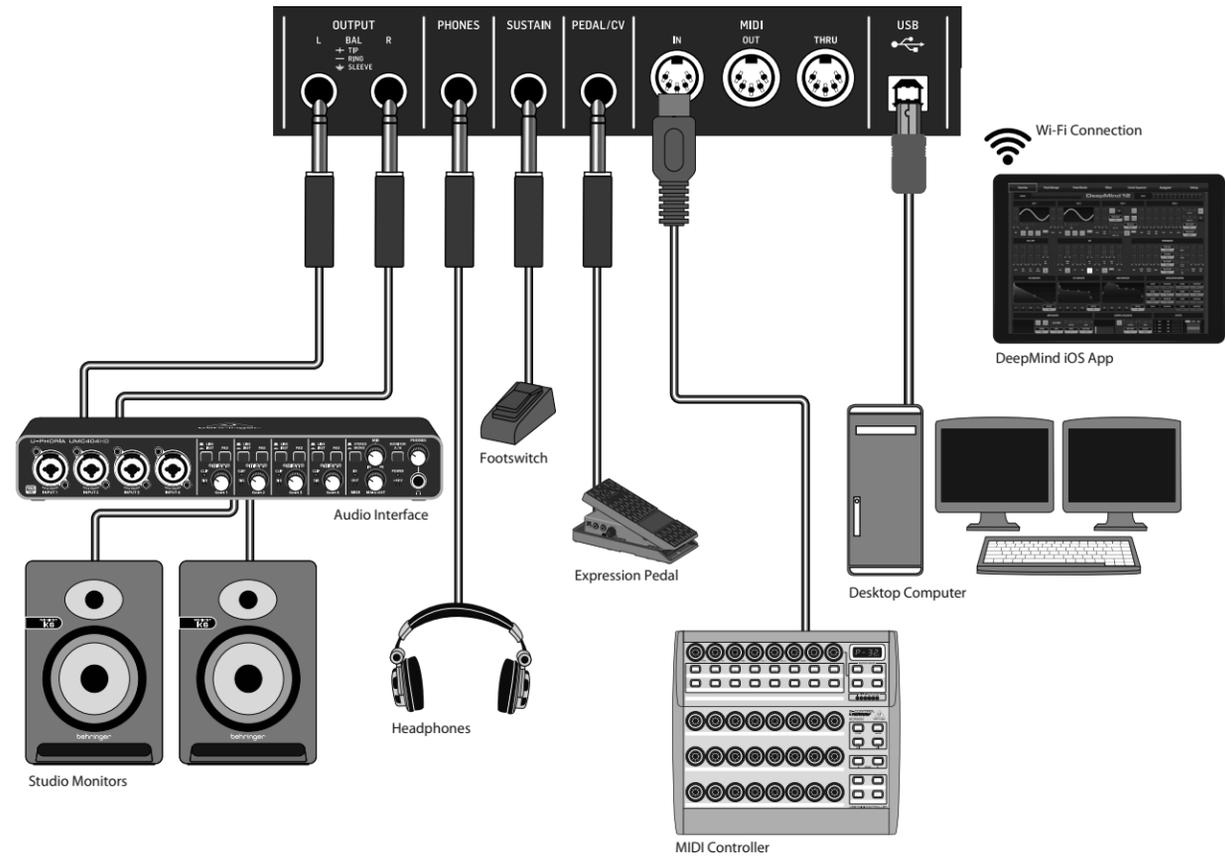
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER、BUGERA および DDA は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2017 無断転用禁止。

限定保証

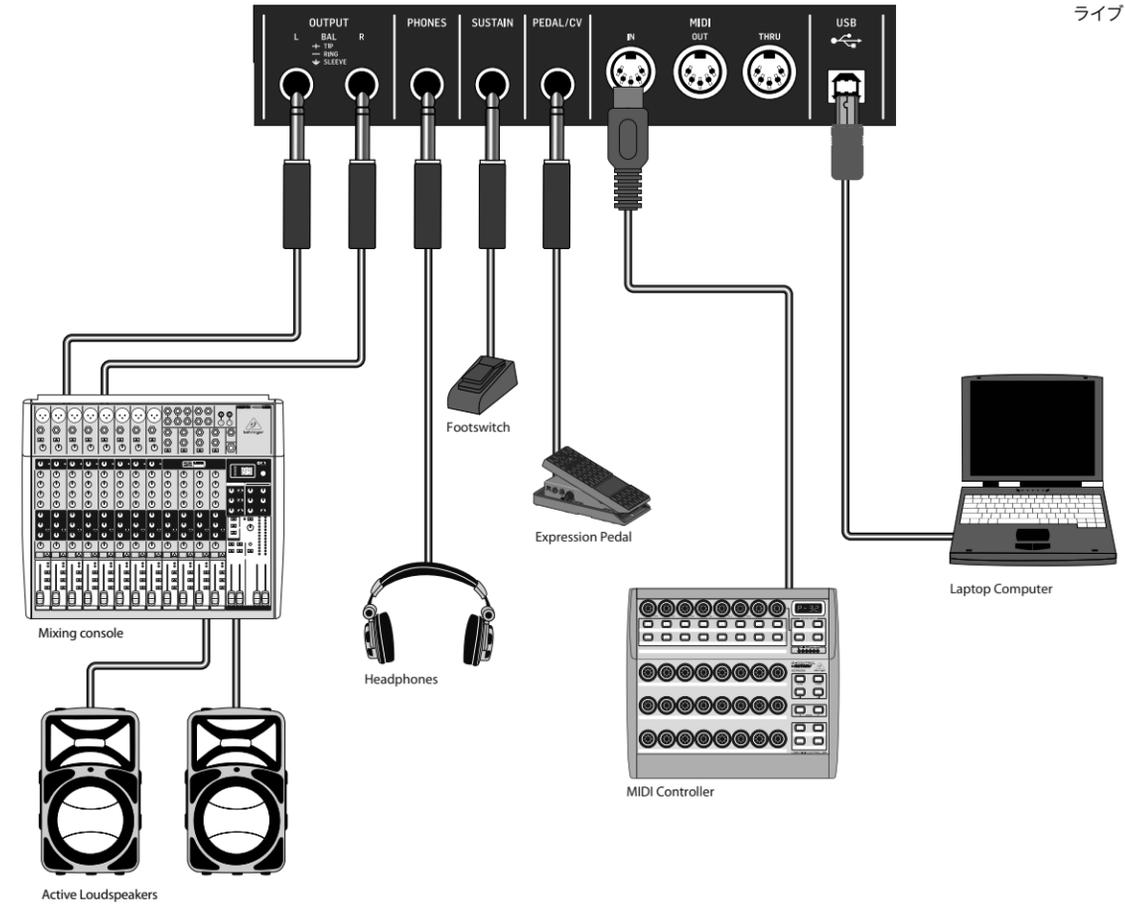
適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

DeepMind 12 フックアップ

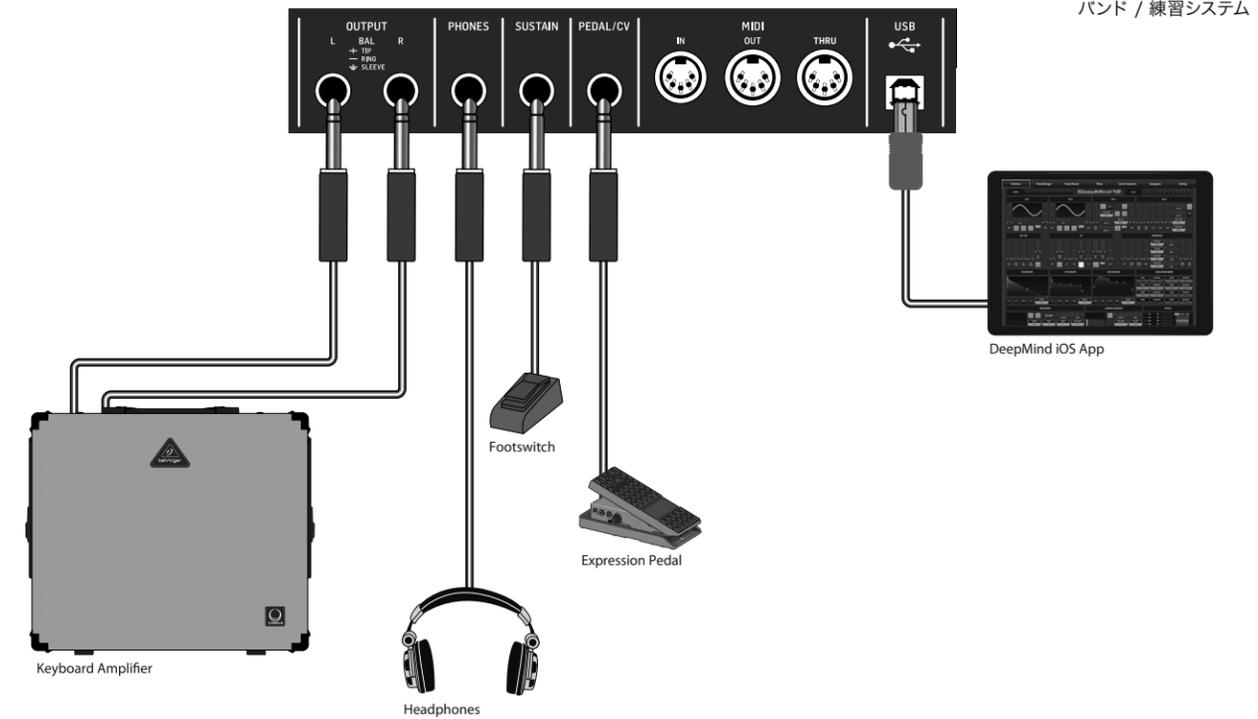
ステップ 1: フックアップ



スタジオシステム



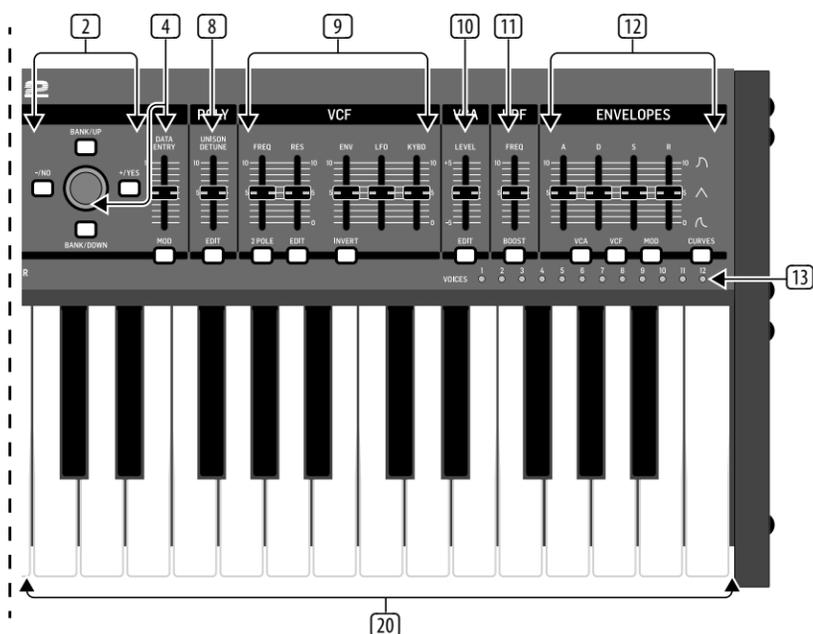
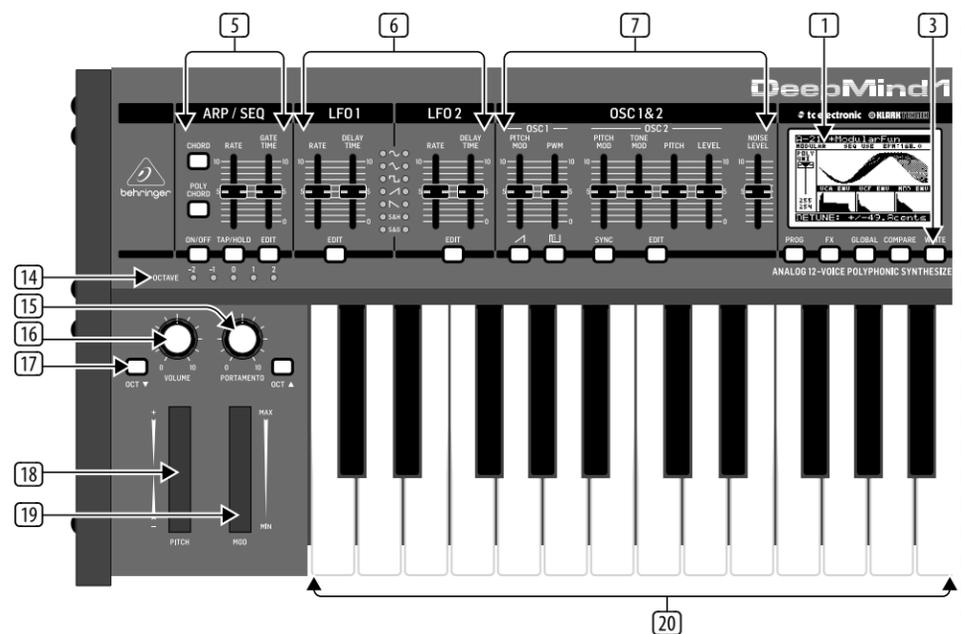
ライブシステム



バンド / 練習システム

DeepMind 12 コントロール

ステップ 2: コントロール



① **ディスプレイ** - シンセサイザーの状態、パラメーター、および 5 つのメインメニューを表示する、バックライト付きの大型 LCD 画面です。コントラストと明るさは、グローバル (GLOBAL) メニューのシステム設定 (PANEL SETTINGS) のページで調節できます。

② **ナビゲーション** - UP ボタン、DOWN ボタン、+ / YES ボタンおよび - / NO ボタンでディスプレイメニュー内を移動します。

③ **メニュー** - ディスプレイメニューへアクセスするためのスイッチ類です。

PROG (プログラム) メニュー - シンセサイザーのメイン画面です。現在のプログラムおよび現在調節中のパラメーターの表示、そしてパラメーターと 3 つのエンベロープを視覚表示します。

FX (エフェクト) メニュー - 使用可能なリストの中から最大 4 つのエフェクトを加えることができます。エフェクトのルーティングを変更するには、10 種のモード (MODE) から 1 つ選択します。各エフェクトは、全パラメーターに対し独立したコントロールを備えています。

GLOBAL (グローバル) メニュー - シンセサイザーの設定の確認および調節をおこないます。接続性 (CONNECTIVITY)、キーボード (KEYBOARD)、ペダル (PEDAL)、フェーダー (PANEL) および システム (SYSTEM) の全 5 ページです。

COMPARE (コンペア-比較) メニュー - このメニューでは、現在のプログラムと保存されたプログラムを比較し、フィジカルフェーダーの位置の差異を確認できます。

WRITE (ライト-書き込み) メニュー - このメニューでは、現在のプログラムの設定をプログラムライブラリーに書き込むことができます。また、プログラム名の変更およびカテゴリタイプの指定ができます。

④ **DATA ENTRY (データ入力)** - ディスプレイで選択したパラメーターを、回転式ノブまたはフェーダーで調節します。回転式ノブはクリック付きなので、精確に制御できます。フェーダーは調節範囲全体に渡って素早く操作するのに適しています。

MOD (モジュレーション) - このスイッチを押すと、画面上にモジュレーションマトリックスが開き、ソースとデスティネーションのリストから、最大 8 つのモジュレーションを作成できます。

⑤ **ARP/SEQ (アルペジエーター / シーケンサー)** - アルペジエーターの制御およびシーケンサーの制御をおこなうエリアです。

ON/OFF (オン / オフ) - 有効になると、押されたキーに基づいてアルペジオを生成します。注意 - EDIT ページからのみ、コントロールシーケンサーをオンにできます。

RATE (レート) - アルペジエーター / シーケンサーのレートを BPM (1分あたりの拍数) で調節します。

GATE TIME (ゲートタイム) - トリガーされたノート間のタイムの割合に基づき、ノートの持続時間を設定します。

CHORD (コード) - 1 つのキーで和音を演奏できるようにします。コードにはルートノートが設定され、キーボード全体にマップされます。

POLY CHORD (ポリコード) - 複数のキーで複数の和音を演奏できるようにします。和音は個別のキーにマップされます。

TAP/HOLD (タップ / ホールド) - 演奏のテンポに合わせてボタンをタップし、レートおよび BPM を設定します。また長押しするとホールド機能が有効になります。

EDIT (エディット) - このボタンを押すと、メイン画面でアルペジエーター / コントロールシーケンサーのパラメーターをさらに編集できます。

⑥ **LFO 1 および 2** - ほかのパラメーターのモジュレーションまたは制御に使用する、低周波オシレーター。

RATE (レート) - LFO のレート、またはスピードを設定します。

DELAY TIME (ディレイタイム) - LFO が開始するまでの経過時間を設定します。

EDIT (エディット) - このボタンを押すと、メイン画面で LFO パラメーターをさらに編集できます。

LFO 波形 - 各 LFO が産生する波形のタイプおよび状態を表示する LED です。

⑦ **OSC 1 & 2** - アナログのフルレンジオシレーターで、シンセサイザーのサウンドソースとなる波形を作成します。

OSC 1 & 2 PITCH MOD (OSC 1 & 2 ピッチ変調) - 各 OSC に適用するピッチ変調の量。

OSC 1 SQUAREWAVE (OSC 1 矩形波) - OSC 1 に出力する矩形波をオン / オフします。

OSC 1 PWM (OSC 1 パルス幅変調) - OSC 1 の矩形波に適用するパルス幅変調の量。

OSC 1 SAWTOOTH (OSC 1 ノコギリ波) - OSC 1 に出力するノコギリ波をオン / オフします。

OSC 2 TONE MOD (OSC 2 トーン変調) - OSC 2 に適用するモジュレーション量。

OSC 2 PITCH (OSC 2 ピッチ) - OSC 2 の基準ピッチを制御します。

OSC 2 LEVEL (OSC 2 レベル) - OSC 2 のレベルを制御します。

NOISE LEVEL (ノイズレベル) - オシレーターに加えるホワイトノイズの量を制御します。

EDIT (エディット) - このボタンを押すと、メイン画面で OSC パラメーターをさらに編集できます。

⑧ **POLY (ポリ)** - シンセサイザーのポリフォニーを調節するエリアです。

UNISON DETUNE (ユニゾン デチューン) - ボイスをユニゾン演奏する際に、ボイス間のデチューニングの量を調節します。

EDIT - このボタンを押すと、メイン画面で、POLY パラメーターをさらに編集できます。

⑨ **VCF (電圧制御フィルター)** - シンセサイザーのサウンドの高域をフィルターする、電圧制御ローパスフィルターです。

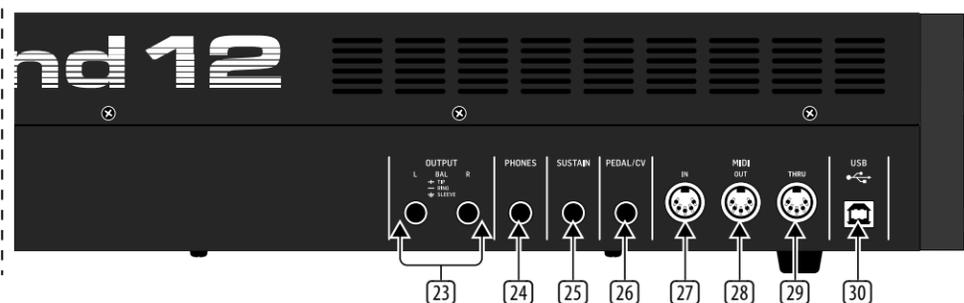
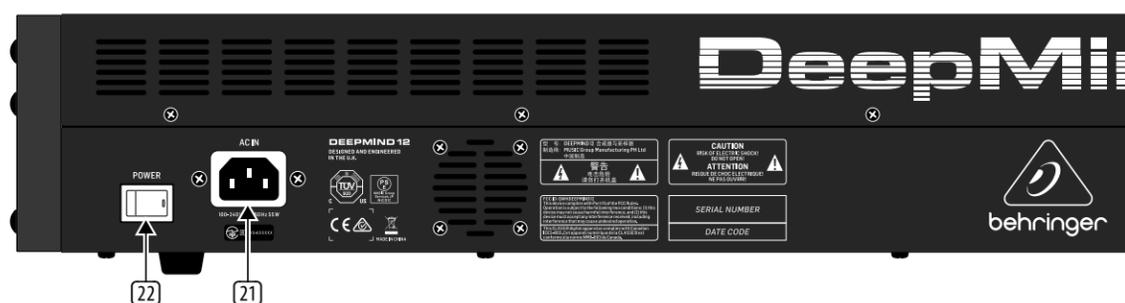
FREQ (周波数) - フィルターのカットオフ周波数を調節します。

2-POLE (2極) - フィルターのロールオフスロープを、初期設定の 4 極 (4-POLE) モードから 2 極 (2-POLE) モードに変更します。

RES (レゾナンス) - フィルターのカットオフポイントのレゾナンスを調節します。

DeepMind 12 コントロール

ステップ 2: コントロール



EDIT (エディット) - このボタンを押すと、メイン画面で、VCF パラメーターをさらに編集できます。

ENV (エンベロープ) - フィルターカットオフ周波数を制御する、VCF エンベロープ (VCF ENVELOPE) のレベルを調節します。

INVERT (インバート) - フィルターカットオフ周波数に適用されている VCF エンベロープの極性を反転します。

LFO (低周波オシレーター) - フィルターカットオフ周波数に適用されている、LFO 波形の深度を調節します。

KYBD (キーボード) - フィルターカットオフ周波数に適用する、キーボードトラッキングの量を調節します。

10 **VCA (電圧制御アンプリファァー)** - 出力レベルを調節する、電圧制御アンプリファァーです。

LEVEL (レベル) - VCA の出力レベルを調節します。

EDIT (エディット) - このボタンを押すと、メイン画面で VCA パラメーターをさらに調節できます。

11 **HPF (ハイパスフィルター)** - シンセサイザーのサウンドの低域をフィルターする、電圧制御ハイパスフィルターです。

FREQ (周波数) - ハイパスフィルターの周波数を調節します。

BOOST (ブースト) - このスイッチを押すと、信号経路に、+12 dB のブーストを適用します。

12 **ENVELOPE (エンベロープ)** - ほかのパラメーターを変調させる 3 つのエンベロープです。

A [ATTACK] (アタック) - エンベロープのアタックタイムを制御します。

D [DECAY] (ディケイ) - エンベロープのディケイタイムを制御します。

S [SUSTAIN] (サステイン) - エンベロープのサステインレベルを制御します。

R [RELEASE] (リリース) - エンベロープのリリースタイムを制御します。

VCA - 電圧制御アンプリファァーを制御するエンベロープを選択します。

VCF - 電圧制御フィルターを制御するエンベロープを選択します。

MOD (モジュレーション) - ユーザー設定モジュレーションに使用するエンベロープを選択します。

CURVES (曲線) - ADSR 制御を変化させ、エンベロープの各段階に対応する曲線に作用します。

13 **VOICES (ボイス)** - キーの演奏時に有効になっているボイスを表示する LED です。

14 **OCTAVE (オクターブ)** - キーボードに適用されているオクターブシフトを表示する LED です。

15 **PORTAMENTO (ポルタメント)** - プレイするノート間のスライドタイムを変更します。

16 **VOLUME (音量)** - シンセサイザーの出力レベルを制御します。

17 **OCTAVE UP/DOWN (オクターブアップ / ダウン)** - キーボードのピッチ範囲を、オクターブ単位で上げ / 下げします。

18 **PITCH (ピッチベンド ホイール)** - スプリング式のホイールです。ピッチを表情豊かに低く / 高くします。

19 **MOD (モジュレーション ホイール)** - パラメーターを表情をつけて変調させる場合に使用します。

20 **鍵盤** - 表現力豊かなペロシティおよびアフタータッチを備えた、49 鍵セミウェイトッド フルサイズ鍵盤です。

背面パネル

21 **電源入力** - 必ず同梱の電源ケーブルを使用して接続します。

22 **POWER (電源スイッチ)** - このスイッチでシンセサイザーの電源のオン / オフをおこないます。必要な接続をすべて完了してから、電源をオンにしてください。

23 **OUTPUT L / R (L/R出力)** - このシンセサイザーのメイン出力で、サウンドシステムまたはオーディオインターフェイスに接続します。システムの電源を入れる際は、モニター / ラウドスピーカーの電源は必ず最後に入れ、またシステムの電源を落とす際は、モニター / ラウドスピーカーの電源を最初に落としてください。

24 **PHONES (ヘッドフォン出力)** - シンセサイザーのヘッドフォン出力はメイン出力と同じオーディオ信号を出力します。ヘッドフォンをここに接続します。シンセサイザーの電源オン / オフの際は、必ず音量コントロールを最小にしてください。

25 **SUSTAIN (サステイン)** - 常開型スイッチなどのサステインペダルを接続する、¼ インチ TS ジャックです。グローバル / ペダル設定 (GLOBAL / PEDAL SETTINGS) メニューでペダルの動作をカスタマイズできます。

26 **PEDAL/CV (ペダル / CV)** - エクスプレッションペダルを接続するための、¼ インチ TRS ジャック。グローバル / ペダル設定 (GLOBAL / PEDAL SETTINGS) メニューでペダルの動作をカスタマイズできます。

27 **MIDI IN (MIDI入力)** - 外部ソースより MIDI データを受信する、5 ピン DIN ジャックです。外部ハードウェアシーケンサー、MIDI インターフェイス装備のコンピューターなどを接続します。

28 **MIDI OUT (MIDI出力)** - 外部ソースに MIDI データを送信する、5 ピン DIN ジャックです。外部ハードウェアシーケンサー、MIDI インターフェイス装備のコンピューターなどを接続します。

29 **MIDI THRU (MIDIスルー)** - MIDI 入力を受信した MIDI データをパススルーする 5 ピン DIN ジャック。通常は、異なるデバイス ID または MIDI チャンネルを割り当てた、別のシンセサイザーまたはドラムマシーンを接続します。

30 **USB ポート** - コンピューターと接続するための USB B タイプジャックです。DeepMind 12 は、MIDI 入出力に対応したクラスコンプライアント USB 機器として表示されます。DeepMind 12 を Windows, Android, Mac OS および iOS 機器でご使用になる場合、ドライバは不要です。

USB MIDI 入力 - アプリケーションからの MIDI データを受信します。

USB MIDI 出力 - MIDI データをアプリケーションに送信します。

DeepMind 12 はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

この「クイックスタートガイド」では、DeepMind 12 アナログポリフォニックシンセサイザーのセットアップ方法と、本機を使用してできることを簡単にご紹介します。

接続

DeepMind 12 をお使いのシステムに接続する際には、本ガイド冒頭に記載されている接続例をご参照ください。

プログラムのブラウジング

プログラムの変更は、-NO および +/YES スイッチを使用します。プログラムブラウザにアクセスするには、プログラム (PROG) スイッチを長押しした後、グローバル (GLOBAL) スイッチを押すか、または回転式ノブを動かします。プログラム管理につきましては、製品マニュアルに詳しく記載しておりますのでご参照ください。

プログラミング

DeepMind 12 のプログラミング テクニックは、製品マニュアルに詳しく記載されています。

パラメーターの記録、編集およびプレイバック オートメーション

デジタルオーディオワークステーション (DAW) で、シンセサイザーのアナログエンジンを使用する時、オートメーション可能なパラメーターを記録し、プレイバックできます。これにより DAW 内で表現力豊かなオートメーションの記録、プレイバックまたは編集ができます。

コントローラーとしての使用

シンセサイザーの諸機能をコントローラーとして使用すると、高品位鍵盤による正確なタッチおよびフィール、ロータリーポテンショメーター 1 つ、26 のスライドフェーダー、33 のバックライト付きスイッチを用いて、バーチャル インストゥルメントを、デジタルオーディオワークステーション (DAW) で制御することができます。マッピングに関しては、製品マニュアルに詳しく記載しておりますのでご参照ください。

ソフトウェア設定

DeepMind 12 は USB クラスコンプライアント MIDI 機器のため、ドライバーはインストール不要です。DeepMind 12 を Windows, Android, MacOS および iOS 機器でご使用いただく場合、ドライバーは不要です。

ハードウェア設定

まずシステムの接続をすべて済ませます。必ず付属の電源ケーブルを使用し、DeepMind 12 を電源に接続します。サウンドシステムがオフになっていることをご確認ください。電源スイッチをオンにします。

DAW 設定

お使いの DAW で、新規チャンネルを作成し、DeepMind 12 を MIDI 入力機器として選択します。同じチャンネルの MIDI 出力機器に DeepMind 12 を設定して、記録した MIDI が DeepMind 12 に返送されていることを確認します。

DAW のチャンネルの選択肢に DeepMind 12 が表示されない場合は、お使いの DAW の説明書をご確認になり、DeepMind 12 が MIDI 機器として有効になっているかご確認ください。

グローバル設定

グローバル (GLOBAL) メニューでは、DeepMind 12 アナログポリフォニックシンセサイザーを、ユーザーが望むワークフローや要求に合わせてカスタマイズできます。グローバル設定について詳しくは、製品マニュアルをご参照ください。

ファームウェア アップデート

お使いのユニットのファームウェアが最新であるかどうかをご確認ください。ディスプレイのグローバル / システム設定 (Global/SYSTEM SETTINGS) メニューでお確かめいただけます。もし最新でない場合、ファームウェアをアップデートしていただくと、最新の機能拡張や性能向上などをご利用いただけます。当社ウェブサイト behringer.com へアクセスし、DeepMind 12 アナログポリフォニックシンセサイザーの製品ページより、最新のファームウェアをダウンロードしてください。



重要な注意: ファームウェアのアップデートにより、プログラムに影響が出る場合がありますので、アップデート前には必ずフルバックアップをしてください。詳しい手順は製品マニュアルに記載されておりますのでご参照ください。

技術仕様

Global	
Display	Backlit LCD
Main Menus	PROG, FX, GLOBAL, COMPARE, WRITE
Edit Menus	ARP/SEQ, LFOs, OSCs, POLY, VCF, VCA, VCA ENV, VCF ENV, MOD ENV, MOD MATRIX
Presets	8 banks each with 128 programs
Fader Modes	MIDI CC, NRPN, OFF
Controls	
Keyboard	49 semi-weighted, full-size keys
Keyboard sensing	Aftertouch and note on/off velocity
Encoders	1 rotary knob
Faders	26 slide faders (35 mm)
Switches	33 backlit switches
Modulation	Free moving wheel
Pitch Bend	Spring loaded wheel
Connectivity	
MIDI In/Out/Thru	5-pin DIN / 16 channels
Pedal/CV	¼" TRS
Sustain	¼" TS
USB	USB 2.0, type B
Output L/R	¼" TRS, balanced, max. +18 dBu
Headphones	¼" TRS, unbalanced, max. +21 dBu
Synthesizer Architecture	
Number of voices	12 analog
OSC	2 per voice
LFO	2 per voice
VCF	2-pole / 4-pole
HPF (Common to all voices)	6 dB per octave
Envelopes	VCA, VCF, MOD
Mod Matrix	22 sources / 130 destinations
Digital Effects	
FX Slots	4 per Program
FX Types	34 Algorithms
Internal effects engines	1 true stereo SHARC DSP
Effects signal processing	32/40-bit floating point @ 48 kHz
A/D-D/A performance	24-bit 48 kHz, 114 dB dynamic range
Bypass	True hard bypass

USB	
Type	Class compliant USB 2.0, type B
Supported operating systems	Windows 7 or higher** Mac OS X 10.6.8 or higher iOS 8 or higher (iPad) Android 6.0 or higher
Wi-Fi	
Antenna	Internal
Access Point, number of clients	Max. 1
IEEE 802.11 b/g standard	2.4 GHz
Frequency Range	2,412 - 2,462 MHz
WLAN channels	11
Max Output Power	16 dBm (802.11 b) / 20 dBm (802.11 g) / 20 dBm (802.11 n)
Power	
Mains connector	Standard IEC receptacle
Power consumption	55 W max.
Fuse	T3.15AH250 V
Internal Switch-mode PSU	Autorange 100-240 V, (50/60 Hz)
Environmental	
Operating temperature range	5°C - 40°C (41°F - 104°F)
Physical (Packaged)	
Dimensions (H x W x D)	103 x 822 x 257 mm (4.1 x 32.4 x 10.1")
Weight	8.4 kg (18.5 lbs)
Shipping Weight	10.5 kg (23.1 lbs)

その他の重要な情報

JP

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くになくは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Dedicate Your Life to MUSIC